

# 玉置之巨杉



発行 玉置神社  
令和4年2月1日  
電話 0746-64-0500  
FAX 0746-64-0429  
〒647-1582  
奈良県吉野郡  
十津川村玉置川1

## 新年の御挨拶

皆様におかれましては、清々しい気持ちで新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和の御代になりまして早四年目になりますが、年もコロナウィルスが世界中に拡散して大変な年でした。国内では、昨年末より縮小の傾向がありますが、新たな変種の発生があるなど、まだまだ予断を許さない状況です。コロナウィルスとは共存していかなければならないものかもしれませんが、平和で安全な日が来ますよう心よりお祈りするばかりであります。

さて、一昨昨年立ち上げました「令和の大改修」はすこぶる順調に進んでおります。北は北海道、南は沖縄まで、全国のたくさんの方からご賛同をいただき、ご奉賛をいただいております。本当に有り難いことです。国の重要文化財であります「社務所」の大改修は来年度から本格的に始まる予定です。既に、事務室・祈祷所・授与所・台所等も「茶屋」並びに「神楽殿」への移転作業を終えています。社務所の「襖絵」も七、八年間は観ることが出来ません。今後は出雲社、本殿、そして三柱神社の順に改修を進めていきたいと考えています。

このような大改修は、玉置神社始まって以来のものです。この大改修を行うためには、「責任役員・氏子総代の協力」「県及び村教育委員会の協力」「宮大工さんとの出会い」そして、「村民の皆様並びに多くの崇敬者の皆様の御協力・御支援」がなければ出来ません。資金や時期・タイミング等の問題もあります。



## 祭典のご案内

- 「祈年祭」二月十七日 「三柱神社初午祭（例祭）」三月六日
- 「出雲大社教玉置教会春季祖霊祭」三月春分の日
- 「白山社例祭」五月六日 「玉石社例祭」五月十三日
- 「出雲大社教玉置教会例祭」五月十四日

これらが全て一致しなければ出来るものではありません。今、私がつくづく感じておりますのは、これらの大改修は、「玉置の大神の御意思」だということだと思います。「玉置の神様の御意思」がなければ、この大改修は始まらなかったでしょう。まさに「神ながらの道」だと思えます。

そのため、我々職員一同、この「令和の大改修」を一致団結して、全身全霊取り組んでいく所存であります。しかし、我々だけでは出来ません。皆様の御支援御協力が必要でございます。宜しくお願い致します。

玉置神社は本当に凄い神社です。駐車場から歩いてきますと、まず天然記念物の「杉の巨樹群」が現れます。樹齢三千年といわれる「神代杉」並びに周囲約十メートルの「大杉」等が群樹しております。そして、本殿には日本書紀という天地開闢の際に出現した最初の神『国常立尊』が主祭神として祀られています。重要文化財であります「社務所」には、狩野派の絵師らの筆により描かれた神仏習合の名残を留める花鳥画の「襖絵」などがあります。また、役小角や空海が如意宝珠を埋めたとの伝承がある、修験の人々の聖地「玉石社」があります。そして、平成十六年には、「紀伊山地の霊場と参詣道」として境内の一画が世界遺産に登録されました。

このような神社は、日本にそう沢山あるとは思いません。この玉置神社を守り、後世に引き継いで行くのが我々の責務でもあり義務でもあります。

最後になりますが、令和の御代の皆様方のご発展・ご活躍・ご健勝を心よりお祈りいたします。

本年も引き続き玉置神社のこと、宜しくお願いたします。



神代杉

## 「石楠花の花殻摘みボランティア作業」

六月九日(水)

十津川村観光協会による「石楠花の花殻摘みボランティア作業」が行われました。例年に比べ早めの梅雨入りがあり天気が心配されましたが、当日は神社付近の気温が二十度を超える暖かさとなり、二十二人の方々は汗をタオルで拭いながらの活動となりました。

協会長の田花さんが、

「先月に予定していた二十一世紀の森・紀伊半島森林植物公園での活動は、雨で中止せざるを得なかったが、今日は好天に恵まれて良かった。」

と話され、集まった方々に花殻の摘み取り方を説明された後、作業が一斉に始まりました。

この作業は、凡そ十年を数えることから大半の方は慣れた手つきで手際よく花殻を摘み除かれ、高い所や急な斜面にある花殻の摘み取りも完了しました。

境内の石楠花は、毎年五月に美しく咲き誇りますが、その陰にはこのようなボランティア活動があつてこそです。皆様のお力で神社が支えられていることを実感いたしました。ご参会いただきました観光協会関係者の皆様、村内各郵便局長様、地域おこし協力隊の皆様、役場関係者の皆様そして、一般参加の皆様にご心から感謝を申し上げます。



## 「夏越の大祓」

六月三十日(水)

二季の祓と称す恒例行事です。この半年間の罪や穢れを祓い清める六月の『夏越大祓』が執り行われました。午後三時、社務所前で舂谷宮司をはじめとする神職及び全参列者が手水により身を清め、大祓式が始まりました。

式は、本殿下方の四隅の斎竹に張られた注連縄の斎庭(ゆにわ)に神職と参列者が座につき、大祓詞が奏上されました。その後、村内及び全国から寄せられた人形(ひとがた)が祓い清められ、神職によりお焚き上げられました。そして、大鳥居前に設置された直径約二mの茅輪(ちのわ)を神職が先導し全参列者がく



ぐり、身を清め、年末にかけての無病息災を願いました。式の途中に偶然訪れた参拝者も式に加わることが許され、当人らは、「身を清めることができて心が軽くなりました」と満面の笑みを浮かべていました。

舂谷宮司は、「明日からすがすがしい気持ちで日常の生活に邁進されますように願います。」

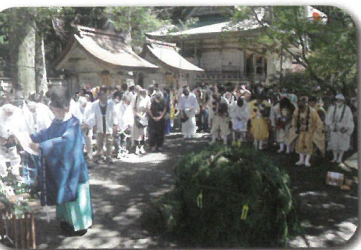
と参列者に話され、罪穢を解除する儀が肅々と閉じられました。

## 「大日堂社大祭」

八月八日(日)

台風九号・十号が近づき天候の乱れを非常に心配しましたが、当日は、十号が予想進路を逸れ晴天に恵まれました。奇跡のような天候でした。

大日堂社前には注連縄で区切られた神域に約一メートル四方の壇が設けられ、それを囲むように舂谷宮司・神職・責任役員・氏子総代・関係参拝者として、山学道・立石光正道主をはじめとする一行三十五人が整列し大祭が斎行されました。神事に続き、仏・菩薩をお招きし点火され、凡そ三千本の護摩木が見事炊き上げられました。参拝者や修験者の煩惱が焼き尽くされ、天下国家安穩・家内安全・五穀豊穡等の祈りが捧げられました。



コロナ禍ではありますが、近郊から多くの崇敬者等が参拝してくださり、神事・仏事に合掌されました。



## 「小学三年生・九月十日(金)」 「中学一年生・十一月十日(水)」 来社

十津川第一小、十津川第二小の三年生二十人が「村内めぐり」の学習で来社しました。御旅所でお弁当を食した後、神職の案内で本殿や神代杉や社務所を見学しました。一般公開を控えている襖絵ですが、子どもたちは特別です。「初めて見た。」「すごい。」等の声が聞こえ、目を輝かせた子ども達の心



に残るものが有ったのかもしれません。子ども達は、その後「玉石社」を経て山頂に登ったようです。『沖見嶽』と言われる頂上から熊野灘の遠望を満喫したことでしょう。

また、十津川中の一年生が総合的な学習の時間の一環として、神社や社務所の見学と神職の説明等の学習が行われました。故郷の歴史や自然に触れ、教養を高め村民としての誇りを高めるという学習目標が達成されたことをお祈りします。

## 「秋の例祭」

十月二十四日(日)



秋晴れに恵まれたこの日、舛谷宮司の挨拶時には、神社上空に「彩雲」と言われる虹色の雲が出現し、例大祭への神秘的な祝福ムードが漂いました。

今年はコロナ禍のため、御神輿渡御を休止するなど規模を縮小して行われましたが、当日お越しの一般参拝者の皆様は、厳粛な神事に低頭合掌され神妙な面持ちでお祈りを捧げられました。

舛谷宮司は、皆様の遠路遙々のお越しを労い、深山幽谷と言えこの玉置の山に鎮まります御祭神の御神徳に触れ、その守護と継承に命をかける思いで励む所存であるとその決意を述べられました。そして、コロナ禍が終息し、一日も早い平穏な日々が戻りますようお願い致しますと締めくくられました。参拝者は、祝い餅を先着順で受け取り、満面の面持ちで家路につかれました。



「献湯祭・注連縄奉納祭」  
十月十九日(火)  
十津川村観光協会の主催による湯泉地・十津川・上湯の各温泉から湧き出る御湯が奉納される献湯祭、本殿をはじめ県指定天然記念物の「杉の巨樹群」のうち神代杉・大杉・常立杉・磐余杉・夫婦杉への注連縄が奉納される注連縄奉納祭が執り行われました。毎年、十津川産の藁を集めて製作され、危険を伴う高所に取り付けられるお取組に、心から感謝を申し上げます。そして、村の商工業が繁栄しますことをお祈り申し上げます。

## 「大杉瑞垣完工清祓式」

十一月二十五日(木)

境内には杉の巨樹群(県指定天然記念物)があります。その中でも一番大きな「大杉」は、目通り十、三メートル、高さ五十メートルと言われ、一際力強く天に向かって真っ直ぐ伸びるように樹立しています。この大杉を囲む瑞垣がこの度完成し、清めお祓いの式が執り行われました。



## 「参拝者の様子から」

六月のある日のことです。猛烈な雨が降っていました。「今日は、参拝の人はおられんやろね。」と皆で話していた昼過ぎ、二人の男女が雨にたたかれながら授与所に駆け込んで来られました。「御祈祷をお願いできませんか？」

事情をお聞きすると、今年の正月、男性が当神社に「良縁祈願」に来られた後、速攻でご縁が持ち上がりお付き合いが始まり、なんとこの日、某役所にて婚姻届を出し、大雨の中、車を走らせお礼参りされたということでした。

そして、御祈祷では「神恩感謝」の誠を捧げられたのでした。帰り際も雨は止みません。しかし、降りしきる梅雨の雨音は、二人の将来を祝福する神々様の拍手のように聞こえました。ちなみに、この日の御祈祷は、この二名様のみでした。いつまでもお幸せでありますことを御祈念いたします。



## 境内や参道に棚引く幟旗

大鳥居を過ぎると間もなく玉置神社と摂社・三柱神社の幟旗が、参拝者を迎えます。神社の幟旗は紫色、三柱神社の幟旗は赤色です。それが緑豊かな大自然に映え、参拝者に安心感を抱かせているようです。

ある参拝者は、ご自身の幟旗を見付けて感激し、感謝いたしましたと言われました。神社への崇敬の気持ちにより一層伝わってくるようです。

この幟旗は、これに込められた願いが叶いますようにと神職による厳粛な御祈禱が行われた後に立てられます。玉置山の空気の中で風雨等に一年の間仕込まれ、徐々に色褪せていく様子は、その諸々の願いが熟していくようです。この幟旗は授与所窓口で受け付けております。



## 世界遺産に含まれる玉置神社

### 『神仏混淆』漂う神社

本社は、平安時代に神仏混淆となったと伝えられています。玉置三所権現または熊野三山の奥の院と称せられ霊場として栄えました。江戸時代には、別当・高牟婁院が置かれていました。

その根本は、古くより熊野から吉野に至る熊野・大峯修験の行場の一つとされたことによります。(この大峯奥駈道が、平成十六年に世界遺産に登録)

明治元年の神仏分離により神仏混淆は廃され、玉置三所大神、更に玉置神社となり現在に至っています。

毎年七月中旬頃、東南院(吉野町吉野山)の修行及び墓参による山伏ご一行が来社されています。今年七月二十二日に、金峯山寺(吉野町)と合同で行われました。総勢三十四人の山伏がかつえ坂から頂上を経て、玉石社、墳墓に参られ、本殿として三柱神社を参拝されました。山伏ご一行の読経と法螺貝の声と音が境内に響き渡り、神仏混淆の雰囲気漂う中で、一般の参拝者は、その場に足を止めて興味深く見守っておられました。



## 神社改修工事進捗状況

○十一月末時点の改修工事の進捗状況をお知らせします。

### 『神楽殿』

※神楽殿の改修工事が完了し、十二月より、社務所の改修を行うために仮の『御祈禱所・授与所』が設けられています。

①参拝者が歩きやすく参拝しやすいように仮設の階段とステージを設けました。手すりを設置し安全面等に配慮しました。

②外付けカウンターを設置しました。折りたたみ式です。御祈禱受付と神札授与受付を行います。

③御祈禱所です。畳は紋縁の新しい上敷きが敷かれ、厳粛な御所となりました。

④参拝者の控え室です。壁面は研磨が施され、床は朱色のカーペットが敷かれて、心地よい空間を感じさせるお部屋となりました。

⑤神職控え室は、サクラ材を使用した無垢フロアリング仕上げで、美しい光沢を放っています。

⑥建物の地下部分と各部屋の壁面に「筋交」が入れられ、構造補強されました。建物の耐震性を強める工法は茶屋と同じ方法がとられています。

※「社務所」改修工事については、二月頃から始まる予定です。



# 『令和の大改修奉賛会』奉賛者一覧

敬称略（令和三年五月一日〜令和三年十月末日）

〔乙〕愛須次朗、愛龍院蘭姫、青柳鎮男、青山武史、青山初博、和美、赤松絵美、秋澤恵理、秋葉捷、浅井雅子、浅井裕智、浅尾千里、朝倉泰成、浅田晃誉、浅田規孝、浅野祐司、朝山優矢、東小夜子、足立智司、足立智子、安達実、阿比留敦子、天野光一郎、荒井さくら、新井俊子、新井久利、荒島雅代、グッドライフクリニック 愛春音結魅、荒牧広実、有田宣子、有本保子、有吉邦夫、安藤敏康、安藤友純、安藤信宏、〔医〕泰山会 山田泰司、飯田敦子、井岡由香、井勝史朗、壹岐弘子、池口博昭、池田和恵、池田和隆、池田勝彦、池田好士郎、池田正也、池田侑加、石井利幸、富美子、石上和彦、石川和亮、石川一之、石川誓哉、潤子、石川満帆、石谷哲哉、〔株〕城ヶ島水産石橋勝己、石橋真治、石橋睦子、〔株〕M-I-T 石本正己、泉朋徳、井勢勝博、井玉隆文、市川知絵、市村登、友美、〔株〕富士リアルエステートサービス 井出勝則、井戸環、井戸ノブ子、伊藤英利、〔有〕起福 伊藤秀薫、伊藤英則、伊藤ひろみ、伊藤正和、伊藤正樹、伊藤榎佑子、伊東泰伸、真弓、伊藤吉博、糸村沙織、稲井志穂美、稲岡亜里子、稲葉哲哉、稲葉ひとみ、犬飼房子、犬本智洋、井上和英、井上真一、井上裕子、今井修、由貴恵、今枝圭司、今川佳彦、今津新之助、今西芳民、今村和義、井村直美、入江奈津代、岩井義郎さゆり、岩尾静香、岩垣愉美、岩木真由美、〔有〕ワーク 岩崎栄作、岩崎弘司、岩下真美、岩田知幸、岩田尚美、〔有〕三洋青工所 岩橋秀之、上坂俊彰、上田敦史、奈美、植田絵理香、植田敬三、植田賢司、上田基文、上田佳司、植竹達也、美津子、上中正徳、上野山正明、国見不動〔同〕上本浩司、鶴口勝、後木祥一、日浦建設 後木光雅、後木元一、宇陀裕弘、内海拓也、宇仁美那子、海野三春、梅澤奈美子、梅田明希、梅田みどり、梅田恵、浦上壯一、瓜田有治、〔株〕メグシ 江口敦士、衛藤幸男、祐子、江西聡、江西将、榎真彩子、海老要、遠藤麻衣子、生沼美裕紀、大字七色、大井史朗、大石明子、太浦章司、大工隆司、和美、大門万佑子、プラス・レイ〔株〕大久保令子、大熊裕美、大倉富美子、大坂千夏、大崎信久、大迫雅子、大島研志、大島さゆり、大島洋樹、大須賀衆三、大関善孝、太田照行、太田富美子、太田勝文、大津理恵子、大塚泉、大塚理恵、大手信之、大西伸治、大橋多美子、大橋日出美、

〔株〕エムアンドエムフーズ 大橋正伸、大畑百美枝、大村太郎、大本桂子、大脇亜矢子、岡裕子、岡島正男、岡田智子、岡田宏美、岡西智圭子、岡村早織、岡村誠子、岡本章、岡本千枝、岡本智恵、岡本典子、岡本英昭、岡本弘嗣、岡本美津、岡山哲郎、岡山由紀子、小川浩司、小川雅弘、尾川詳晋、奥夕工、奥孝浩、奥倉真智子、奥田靖乃、奥野榮造、奥野成真、奥本信子、小栗日出美、小黒草平、尾崎浩規、〔株〕建匠 小佐野豊隆、小澤由美、押切宏樹、尾田啓明、乙宗裕美、小野京子、小野打恵、小幡洋平、小原和幸、表谷タキエ、折野史郎、音揃技建〔株〕音揃博文、隠田渚、恩地清人、〔丸〕〔株〕アート、〔株〕後、〔株〕グローバルコーポレーション、〔株〕玉置建材、〔株〕D・I・S工業、〔株〕那須建設、〔株〕ハンジ修酒販、貝瀬愛美、垣内晶代、垣内新一郎、垣内洋子、垣本健一、垣本尚樹、垣本博雄、垣本真衣、垣本美穂、籠嶋賢一、加治木紀子、梶谷正美、〔株〕かじもと 梶本雅彦、片山敦詞、片山貴皓、片山敏也、〔株〕統建 勝田浩史、勝部智栄子、勝部朋子、〔株〕みらい創生社 加藤昭乃、〔株〕鶴賀屋 加藤恭太郎、加藤隆志、加藤伸子、加藤久貴、花等寛将、加藤美恵子、加藤康樹、門馬博己、博子、金井仁鉢、〔株〕K&Kコーポレーション 加仲康彦、金森一真、金森由利子、金谷州明、金子是久、金子貴久、金子好伸、金重瑛子、金城知也、金城真知子、金森信一、樺田裕義、釜谷寿史、神代真衣子、紙田京美、紙田類之、〔有〕エイワン 亀田和典、茅野宏美、加用律子、〔株〕川上運送 川上茂樹、河上大、川口江美子、川口恵美子、川口健策、川口智子、川口浩哉、川崎豪彦、川島佐智子、川尻真規子、川西乃々葉、川西めぐみ、川端多江子、〔株〕住まいの創造館ネッツ・トラスト 川東正和、川東正和、川邊泰彦、河村隆幸、神田崇光・幸子、神田千代子、紀伊半島地域文化研究所、喜多伸匡、北浦誠明、北岡一枝、北岡文夫、北岡文博、北岡真樹、北谷将之、北野幾子、北野純、北島聖龍、木藤繁男、美穂、木下豊治、木村知代、〔有〕ホームアート 木村剛、木村真美、木元登志秀、清井昭善、京谷充訓、桐本素子、桐生智恵美、金原佑、久貝幸宏、草分彩子、工藤潤子、工藤友華、久保真治郎、久保田あすか、熊野隆史、糸川潤子、倉西信一朗、藏前隆志、倉本幹也、倉本実由紀、栗原修治、栗原プロパン、黒澤教雄、小井敏雄、小池嘉範、小泉京子、高代泰弘、上月功子、光野甲陽、高野巨晴、郷野美鈴、郡山久美恵、古賀博英、小島光太郎、小島とみ、小嶋玲子、小関典平・久美、小竹安治、後藤明弘、後藤喜久子、後藤貴緒、小仲博之、小西孝宜、小西万紀子、小林篤史、小林和子、小林健男、小林朋子、駒形恵子、小松美由紀、小松義博、五明和子、小室友令、小森美智子、

小森靖久、小藪貴功、小山登、近藤亜希、近藤一夫、近藤順子、近藤文哉、〔廿〕〔有〕雜賀組 雜賀定次、雜賀定次・キミエ、宰川長靖、齋藤尚江、齋藤ひとみ、齋藤芳次、齋藤能通、齋藤一キミエ、アキコ、アキコ、齋藤竜太、佐伯紀子、佐伯莉沙、坂智和、坂智晴、酒井浩一、酒井純子、坂上紀子、坂口文啓、坂下清和、坂田枝里子、坂根巖、坂根佳恋、阪本昇二、妙美、坂本裕美、阪本泰夫、崎原真紀子、元石清水八幡宮八幡神社 作啓造、佐久間英之、佐久間友紀子、佐久間隆司、櫻井丈己、櫻井利豫、櫻田里美、佐古金一、佐々木伸行、佐々木昌志、佐々木祐介、篠本裕子、佐藤三太郎、佐藤智子、佐藤のり子、佐藤弘美、佐藤正美、佐藤美咲恵、佐藤美智子、佐藤雄喜、佐藤吉朗、佐原互、澤井和美、澤野啓治、塩崎晴朗、塩崎真理、志賀礼子、鹿谷彰男、鹿喰登江、志田美子、篠原聖美、柴亜伊子、柴田浩気、柴田千恵子、柴原栄之、柴嶺優子、嶋克子、島鉦博、嵩岡正浩、島田拓美、嶋田善方、〔株〕フレア 島村真人、冷水佐衣、清水俊博、清水直美、清水久美、清水寛子、清水宏美、下地歌子、下村文人、首藤由紀子、菖蒲りか子、白井榮美子、白石智子、城尾有紀、新里尚子、新谷修、〔株〕ニユーエスト 新西貴代美、神保秀樹・瑛理香、菅原なつみ、杉健二、杉洋子、杉浦貴子、杉田恵美子、〔株〕三島塗建工業 杉本直也、杉本正勝、杉本泰隆、杉山孝守、〔株〕セリオス 須崎保、頭師浩正・詮子、鈴木薫、鈴木潔、鈴木久美子、鈴木純一、鈴木浩、鈴木麻理子、鈴木三代子、鈴木愛子、鈴森茂、住原英樹、陶山太郎、陶山真理子、諏訪園百子、瀬川孝子、瀬川幸洋、関口喜臣、仙波礼子、そらまめ鍼灸院、〔夕〕太地芳裕、大宝建設〔株〕、高井真治、高井直美、高木篤司、高儀武、高嶋晋一郎、高嶋誉志、高島仁美、高田節子、高田祐嗣、高橋悦子、高橋國子、高橋久美子、高橋卓也、高橋都代子、高橋陽香、高橋久子、高橋真由美、高橋萌、高橋里依、高柳和史、高山尚工、田川ハルミ、田川優、瀧川隆士、瀧口学、田口結子、宅間則子、工匠誠、武市尚司、武市裕子、竹川智、武嶋由修、竹田幸子、武田照美、竹田真子、竹中榮一、竹中静、竹原千景、竹原裕貴、竹原由紀子、武村百合子、田澤廣行、田瀬かおり、立川恵美、橋俊孝、館原英子、巽敏記、田所真紀、田中あゆみ、田中栄子、田中浩次、田中武文、田中奈緒子、田中弘幸、田中真由美、田中真由美、田中光枝、田鍋悦子、田邊恵子、由佳、谷孝祐、谷口拓志、谷口恵、谷口裕貴、谷崎公美恵、玉井謙一、玉井則子、玉置恵一、玉置純一、玉置真佐美、玉川竜、玉置阿揮子、玉置敦、玉置和則、

玉置嘉代、玉置聡史、玉置順一、玉置剛、玉生哲也、玉置功子、玉置元、玉置治恵、玉置温之、玉木浩司、玉置寛美、玉置正幸、玉置三富士・年子、玉野晶子、田宮雄一、田村尚子、丹治左奈江、知念光博、千野美典、千葉幸夫、千葉ひづる、塚本由佳、筑紫昌人、佃知子、佃麻衣、佃康彦、佃齐将、辻重栄、辻哲也、辻内善博、辻岡真由美、辻中英子、辻村由佳、津田潮、土谷英樹、土谷恭代、筒井三雄、都築貴子、綱嶋淳子、恒川朋弥、坪内香保里、坪内久恵、津村貴子、敦賀功、鶴崎辰也、鶴田まき、デイサービス心花、出口友彦、手島讓、寺田しのぶ、寺村心、傳田哲、〔同〕シンデン、土井一平、道井依里、土居英樹、土居寛子、土井本効大、藤孝子、峠誠二・寿美代、堂元真紀、遠山耀秀、遠山千織、遠山永子、戸川和子、時英津子、時美紗子、徳永和可子、徳山敬太、殿塚いづみ、鳥羽渚、鳥羽正起、と美川敬子、富田輝彦、富永真喜江、友松洋之・典子、豊嶋暁人、〔子〕内藤康子、中井研二、中井雅子、中尾和浩、長尾崇弘、中尾由紀子、中尾嘉宏・三穂、中岡一夫、中川明輝子、中里友馨、中澤咲恵、中島久夫・みどり、長瀬裕明、長田博司、中田博之、中谷仁、中谷典史・真紀、中辻秀敏、中出千尋、中出誠、中西俊夫、中西裕子、中野衣里、中野克耶、中野智文・啓子、中野文耶、中野佑耶、〔株〕Kind 中野友理、中野亮子、中村一彦、〔株〕感彩 中村敬一、中村重良、仲村淳子、中村武生、中村友貴、中村公俊、中村洋子、中本京子、中本恵造、空 SEEDO 中屋真由美、中山佳恵、中山公晶、永山誠一、中山梨絵、ナッシュウエイン、夏目勸嗣、夏山隆夫、成田洋子、成山健司、成吉弘幸、南部美子、西尾和明、西尾公雄、西角浩二、西角真詩、西川雅弘、西嶋英市、西田えり子、西田久光、西原哲重、〔株〕西峰工務店 西峰嵩、西村慎太郎、西村洋一、〔株〕おかみ 西村博之、西村由美、西山昭弘、西山沙知、西山千鶴子、新田崇夫、祢宜種夫、根岸晴美、野口和枝、野口久仁子、野口美文、野尻知嗣、野田政樹、野田雅之、野又章子、野村直佑、則本隆、〔ハ〕萩原辰男、著方麻希子、三門電設〔株〕 橋口正、橋爪恭子、橋爪浩文、橋本篤典、橋本堅、橋本稔、畑井由佳、初井政澄、花井昌子、花岡かほり、馬場英子、馬場一男、濱垣永治、濱垣雄友、〔株〕愛知鋼管 濱田宏弥、濱中宏介、早川一伸、早坂真帆、林英里、林昂志、林真理子、林由実、羽山宏夫、原比佐子、原口洋子、原田恵子、原田圭司、〔株〕津市環境公社 原田日出夫、原田万左江、原田祐子、原田良雄、針原成吉、播本健太郎、〔株〕ハンダーランド 半田展裕、半田雅未、番場智之、日裏勝、檜垣宏之、東佳代・秀典、東ちせ子、東成志、東中正延、引地一徳、樋熊香苗、

昆沙門院野上大介、日高真帆、人見健一郎、兵頭篤、(株)アシスト 平井宏治、平井利起、平瀬幸恵、平瀬稔也、平谷敏裕、平山香、廣岡里美、廣兼範昌、弘澤宣之・科子、廣瀬敦彦、廣瀬岳、廣瀬和子、廣瀬公美、廣瀬千紘、廣瀬洋子、深瀬清美、深瀬常保、勢子、深町宗延、吹上文恵、福榮昇、福澤千里、福島明子、福島隆樹、福嶋葉子、(有)HERMENS 福田治、福田圭子、福西靖子、福本真理、藤井里美、藤井道史、藤井義則、藤川晴雄、藤木芳、藤澤咲、藤澤祥子、藤澤豊、(株)フジタ 藤田政明、富士本栄子、藤本置店、洲上佳津江、淵端清、武馬保美、古川美香、(有)雄美 古川美寧、古川ユミ、古澤太子、古田花廷、柳瀬興業 古谷宏、Perau、穂苅政幸、細川益宏、堀江哲也、本多香織、本多勝彦、本田拓身、(有)前島潔、前田勝代、前野稔、牧田光史、牧野克美、枘井智子、真一家光織、増田浩和、柵木悦子、町田広子、町田光正、憲保、(株)エム・シー富士 松井英樹、松井美土莉、松尾清美、松尾舞、松下佳余子、松下玄、松田裕梨、松原一樹、松村勉、松本禎夫、松本淳一、松本千穂、松本秀雄、松本弘規、松本真由美、松本好生、松本里英、松本律子、松本龍、丸岡亜由美、丸草幸雄、丸谷延博、(有)マックス 丸山通、丸山文久、三浦信生、三上幸孝、水元一明、三瀬義男、三田一、湊晴之、(株)サイクリエート 湊谷洋子、南功也、姫波代、南早苗、南節子、南千尋、南敏次、南博文、南倫子、南本一彦、南山実津代、養田恵子、養田正豪、三橋鉄雄、三村利彦、宮越隆政、宮崎裕太、宮下典子、宮武いく子、宮根かをる、宮前吉隆、宮本和宜、宮本聡子、宮本宏子、宮脇綾、向田裕美子、向原義統、向笠友子、麥谷智生、六川誠、村尾泰史、さくら万両 村上さくら、村上結城、村上優子、(株)エナジー技工村田亜都沙、A's 技建(株) 村田亜都沙、村田秀穂、村田義広、室屋若子、持田登代子、森建五、森成正、森麻里子、森雄三、(有)夕子バナ工務店 森井章仁、森内秀起、森浦京子、森川政子、森川洋子、森下みさほ、森下郁子、森嵩隆一、順子、森田佳祐、森田茂樹、森野浩子、森本邦義、ヨシ子、(有)八坂毅、矢島奈月妃、保井克允、安井要、矢田直美、柳川智香子、矢野智也、山内昌彦、優子、山形直樹、山縣洋一、薫、山北智晴、山口健児、山口展弘、山口正春、洋子、山口雄司、山崎亜佐美、山崎文夫、山路哲、山下みゆき、山下友紀子、山住須美、山田楓、山田堅生、山田貴子、山田博章、山田文子、山田由香理、山田順子、山中浩義、山中由季子、山中陽子、山野寿子、山本朱美、山本勝実、山本茂弘、(株)イーテック 山本俊樹、山本秀男、山本寛恵、

山本浩規、山本真由美、山本桃子、山本有紀、(株)山本本家 山本陽一、(有)杉本工業、湯淺啓史、湯淺雄大、湯川典幸、行弘隆、麻里子、横川美加、森高測量 横平宜史、吉岡和彦、吉川諭、吉川直樹、吉田和弘、吉田和代、吉田淳子、吉田商事(株) 吉田尚令、吉田英代、吉田浩章、吉田雅晴、吉田美佐夫、吉竹弘枝、吉原圭子、吉村守弘、吉本絵里子、靈山龍也、米澤末子、米本重夫、紀子、(有)ライニング技術工業(株)、(有)若井明美、若林玲子、脇真弓、和佐徹哉、栄、和田浩三、和田順子、和田卓也、(株)權コーポレーション 渡辺勝見、渡邊浩司、渡部小百合、渡邊信子、渡邊正人、渡邊由美

## 一般奉賛者一覽

敬称略(令和三年五月一日〜令和三年十月末日)

(有)浅田悦弘、浅田勝司、朝日倫子、東さち代、東高弘、東剛、(株)TOCCHI 我妻敏裕、(有)ファーストブルー 荒澤佑侍、五十嵐由利、五十嵐洋子、池口敦子、池田俱子、池本たか子、石井亜季、石川満帆、石川資浩、石川資浩、石古貴士、石田聡子、石田隆生、石田照彦、石戸谷俊介、石橋睦子、出田大祐、伊藤史子、伊藤貴美、伊藤正和、伊藤正樹、伊藤由美子、井上秋香、井上板金 井上征明、岩井勝美、岩元正樹、岩本正史、岩元正樹税理士事務所、上原けさ子、牛場まり子、日浦建設 後木光雅、内田陽子、内海智剛、梅津桂子、浴哲生、江崎三基、多ひす荘、(株)和昇 遠藤和尊、大井史朗、大内悠芳貴、大越大助、大崎信久、大澤啓徳、大西功一、大畑光章、ちひろ助産院 大平昌子、大家重治、岡修、岡みずほ、岡崎宗子、小笠原幸子、岡下真由美、岡谷ひとみ、新宮山彦ぐるーぶ、奥夕工、奥靖枝、(有)グリーン工業 奥野高正、小倉浩、長村千春、尾崎静代、(有)日本技建功業、甲斐資子、海部剛史、安紗美、笠松俊夫、柏田富道、樫田善彦、樫原龍男、柏木美代、片岡詔子、(株)統建 勝田浩史、加藤慎一、加藤正宏、金澤美恵、兼子弥子、金城真知子、金丸玲菜、加納進二、美紀、加納昌依、紙上和子、髪口潤一、上平知子、すぎ、假家英明、川淵浩史、河村洋子、菊池利明、木口菜穂美、岸尾浩史、木田宗良、北村博子、木下恵美、木村知子、金原佐栄、杭和正、楠雅代、工藤よし江、久保田康裕、熊倉英恵、栗原秀利、大高真澄会 黒石珠水、黒石珠水、黒田郁子、黒田将由、田辺教旭教会 小泉葉里子、神山易久、古賀博英、小坂篤司、越田光重、小林一平、小林利幸、美沙、小林理恵子、金剛峯寺東南院合同奥駈会、近藤順子、近藤文哉、(有)材津裕治郎、蔵王寺立華院、櫻本坊行者一行、佐古金一、佐藤年行、佐藤雄喜、里村光順、佐野弘美、更谷慈禧、真喜子、山後宏伸、椎原雅美、塩原真、塩見直也、重田清治、鹿喰登江、志田美子、品川隆幸、柴沢晃、いもと不動産(株) 嶋充啓、新谷嘉成、菅谷寛、杉本欣也、頭師浩正、詮子、頭師正美、鈴木淳、鈴木玄耀、

鈴木真、隅谷勉、曾路里優介、〔夕〕大阪三ニオン印刷(株)泰山久司、田上裕弘、高垣昌子、高木寿、高橋博美、財田満夫、滝口洋子、竹田しづ乃、竹久美恵子、たつみ糖尿内科クリニック 辰巳晴規、辰巳雅朗、山学林 立石光正、田中常一郎、田中秀樹、田中光枝、田中良明、田邊静香、谷井康人、谷上隆、谷口さくみ、田花館、玉井謙一、玉置一朗、玉置幸史、玉置行祐、玉置公三、玉置秀男、玉置文秀、玉置幸郎、玉置晶子、千歳由忠、梅安とも子、津田明美、土谷英樹、手嶋勝美、厨おとと 寺本勝己、東條旭、梅嶺レイ、十津川荘、十津川村観光協会、殿本泰大、富宅孝子、〔子〕中精一、仲正人、永井勝美、中井和江子、中尾彩人、中尾紗耶、仲川朋秀、長倉孝子、中坂整骨院 中坂光博、長島さやか、中島典子、永田将士、〔有〕中谷工務店 中谷益彦、中西まち子、中野繁次、長野純子、中野多香子、中野優子、中原吏、中村三津男、夏山隆夫、夏山正美、並田陽子、成田安弘、成橋紳弘、南都銀行十津川支店、新倉和子、仁坂澄子、西久保匡志、西林克明、西村綾子、西村諭士、温井貴誠、野口久仁子、(株)野嶋石材店 野嶋正之、野本暉房、〔ハ〕芳我猛生、萩原伊紀子、橋谷敏明、橋本薫、花島淳一、濱田正代、原保明、原田恵子、原田方左江、原田良雄、東勉、眞子、東眞民、オキシリンク(株)樋口昭紀、平井本一、平野章枝、平野文恵、平野美貴、廣川眞子、広沢直子、廣瀬洋子、深谷真由美、福井滋子、福岡俊弘、古都音(株)福田彩乃、福田珠生、福元恭代、福屋利久、藤井育代、藤井順子、藤田早苗、藤田濟豊、藤田享子、富士よしの(株)藤ノ原繁昭、藤本典子、藤山清美、古谷貞子、朴澤大輔、堀隆、堀池大輔、本部眞吾、本部嵩虎、本部めぐみ、〔マ〕前川秀朗、満願寺 前田峯成、前田正伸、増井寛子、(株)エム・シー富士 松井英樹、松岡令子、松本真由美、丸山昌三、三笠貴史、三栖敏一、三栖康子、三戸浩一、南方美紀、南武雄、南島幻、峯正明、深山隆治、宮本輝紀、向笠友子、村田和正、村田新吾、村島友美、本井謙 本井慈芳、森あゆみ、森悦子、森多美子、森泰幸、森井康亘、森内節雄、森下かね子、森地研、森地佐伎、森地久治、森地文世、森地優子、森地佑伎、諸見里眞暁、〔ヤ〕安井要、安田愛子、柳瀬工務店 柳瀬正明、柳瀬元一、山内淳、山内亜希子、山越文子、山崎耕一、山田祥、山田祥平、山田充彦、山田留美、山中富士夫、山本亜由美、山本一隆、山本茂、山本智恵美、山本昌子、山本礼志、横山康宏、吉川優太、吉沢俊一、米原恭淳、〔ウ〕若杉美奈子、渡邊勝代、渡邊芳子



霧の巨樹群



苔むす巨木

## 社務日誌より 令和三年

- 五・三十 笙生田流奉納演奏 金澤美恵氏他四人
- 六・二 榊植樹 責任役員等(約三百本)
- 六・九 石楠花花殻摘み奉仕
- 六・十三 十津川村観光協会田花会長他二十二人 責任役員会・氏子総代会
- 六・二十 毘沙門院一行二十三人参拝
- 六・三十 夏越の大祓
- 七・七 (株)中和コンストラクション一行十四人参拝
- 七・九 重要文化財社務所改修打合せ
- 七・十三 文化庁文化財調査官他四人来社 会計監査
- 七・二十 神楽殿改修工事着手 (株)和昇
- 七・二二 金峯山寺・東南院一行三十四人参拝
- 七・二三 元衆議院議員玉置公良氏他六人参拝
- 八・四 世界遺産奥駈道石垣修復工事(株)中村石材店
- 八・八 大日堂社例祭 探燈護摩奉仕
- 八・十九 山学道道主立石光正氏以下三十五人 大峯奥駈道玉置神社境内石垣整備 検討委員会 佐賀大学宮武教授他五人
- 八・二一 ヴァイオリン演奏奉納 原田薫氏
- 九・六 磐余杉養生工事 (株)上道キカイ
- 九・十 十津川第一・第二小学校三年生来社 (児童二十人他)
- 九・一五 責任役員会
- 九・二二 村教育委員会との定例会
- 九・二三 出雲大社教玉置教会祖霊祭
- 十・二 東京クラブツリーズ来社十八人
- 十・四 東京クラブツリーズ来社二十一人
- 十・六 大杉瑞垣工事着手 (株)日浦建設
- 十・十三 会計監査
- 十・十七 東京クラブツリーズ来社十六人
- 十・十九 注連縄奉納及び献湯祭
- 十・二三 十津川村観光協会田花会長他二十一人 宵宮祭 クラブツリーズ来社十六人
- 十・二四 例祭
- 十・五 東京クラブツリーズ来社十九人
- 十・六 神前結婚(松本祐一・香織夫妻)
- 十・十 十津川中学校玉置山巡り(生徒十四人他)
- 十・十一 文化財建造物防災対策に関する現地調査 早稲田大学名誉教授長谷見工学博士他五人
- 十・十二 (株)秀拓一行十五人正式参拝
- 十・十三 写経の友一行十八人正式参拝
- 十・二一 奈良交通ツアール来社二十人
- 十・二三 新嘗祭
- 十・二五 大杉瑞垣完工清祓式 (株)コロナ取締役相談役他十人参列
- 十・三十 村教育委員会との定例会
- 十二・二 社務所改修のため茶屋及び神楽殿へ引越す
- 十二・四 鹿児島県十津川農場正式参拝一行六人
- 十二・七 山の神 神恩感謝祭十津川村森林組合他六人
- 十二・八 後白河院及び和泉式部参詣記念塔 覆屋工事着手 (株)和昇
- 十二・二七 煤払神事
- 十二・二八 氏子総代新年に向けての境内清掃
- 十二・三二 年越の大祓 除夜祭

## 編集後記

ある晩秋早朝の出動時のこと、国道沿いは曇天の薄暗い状況のため気持ちが悪くありません。しかし、神社近くまで上り、国道沿い集落を見渡せる地点になると、眼下に集落を覆う「大雲海」に遭遇したのです。更に尾根を越えると神社方向からの神々しい太陽の光に迎えられました。雲海より上空は、鮮やかな晴天が村を包むように広がり、その爽快さに気持ちが一変しました。神社が位置する所の素晴らしい景色に改めて感動し、奥深い神秘性を感じる体験に感謝した貴重な一時でした。(広報担当)